

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 &lt;第87号&gt;新年号

## かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F  
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194  
 Email: iguren@kanagawa-iguren.com  
 http://www.kanagawa-iguren.com

## 年頭に寄せて「再び日本・日本人について」

神奈川県異業種グループ連絡会議・議長 南出健一

## 2010年、明けましておめでとうございます。

皆様にはいかがお過ごしだったでしょうか。いつもの新年より華やかさに乏しい感を持ったのは私一人だけではなかったと思います。景気の二番底が危惧されながら年を越すというやり切れない戦きがお正月の雰囲気吹っ飛ばしたといえるかもしれません。

さて、世界同時不況から15ヶ月、多くの企業は塗炭の苦しみを強いられてきました。ここまで経済活動が縮小するとは誰も想像出来なかったことです。特に大打撃を受けたのはモノづくりと輸出に精を出して来た国々でした。急転直下の落込みで「モノづくり国家」の産業構造は一変する事態になったのです。自動車生産の世界を席卷したはずのトヨタが瞬く間に「赤字企業」に陥り人々を驚愕させました。いまだにその轍から抜け出せないことに「まさかトヨタが…」「なぜトヨタが…」とわが目を疑っています。製造業がお手本にして来た「輝かしきトヨタ生産方式」はどこへ行ってしまったか、そんな思いに駆られている今日この頃です。一つだけハッキリしているのは「モノづくり」とは一体何かを根元から問い直さねばいけない状況に置かれているということです。

もう一つ気懸りなことがあります。何十年も官民上げて声高らかに「モノづくり再生」を叫んで来た結果の産物がこの有様とはどうしたことなのでしょう。あえて勘ぐれば今の事態を引き起こしたのはこの辺りに途轍もない因子が隠されているように思えるのです。過去も国を挙げて笛や太鼓ではしゃぎ立てた結果、何も残らなかったバカバカしい経験を積重ねてきました。「霞ヶ関と下心見え見えの先生方」が音頭を取っている限り何の解決にもなりません。今一度、手間隙かけても根っ子の病巣を確かめ洗い直す仕事をすべき時ではと思います。

明治維新から140年、欧米列強国と肩を並べるための「キャッチアップ」を金科玉条にしてひたすら脱亜欧米化に努めてきました。日本近現代史が語っている行間を意識すればこの一言に尽きるといってもいいかもしれません。

もっとも四方が海に囲まれた極東辺境の地という制約条件のため強大国から「キャッチアップ」する方法しかなかったともいえます。有史以来ひたすら大陸の文物とノウハウを採り入れ取捨選択することに傾注してきました。そこから俯瞰されるのは卓越した改良改善能力を持った「類希な海を使いこなす民」の姿だったのです。その典型は命がけて海を渡り中国で学んだ法律を自分の身の丈に合わせ「大宝律令」としてどうにか古代国家の体裁を整えたことです。

中世ではイスパニアやポルトガルの「大航海時代」と時計の針が一致した時代になります。彼らはマカオやマニラに船団基地を作り九州や瀬戸内海に來航してきました。瞬く間に西国と畿内の港には目新しい文物の倉庫が建ち並びます。好奇心旺盛な人々が町や村の広場に楽市楽座を設けながら博多・堺や日本海の三国や敦賀に活気溢れる自治港湾都市を作り上げていきました。やがて交易品より優れた模倣品が「わたり」という定住地を持たない職人や商人の手によって生産されていきます。その代表的なものは種子島に渡来した「2丁の鉄砲」でした。わずか3年でノウハウを会得するや改良改善を重ね一万丁を生産するまでになりました。16世紀では世界一の保有量だったといわれています。そればかりかポルトガル語が港町の方言になったりカステラが長崎の名物になったり他国から見れば魔か不思議なことでもごく自然に受け入れられてきたのです。何事にも一旦は鷹揚に受入れる「うわばみ」的な食欲さを持った民衆にとっての中世とはオープンで自由な時代でした。それでも未だに欧米では「閉鎖的排他的な社会」の通説が罷り通っています。外国語が喋れても自国の歴史を堂々と語り「日本を主張する」政治家や役人のいないことに驚かされます。ここに國家としての根っ子の弱さと課題が潜んでいるような気がしてならないのです。

艱難辛苦な状況にあるからこそ、もう一度「日本と日本人」について掘り下げる作業が欠かせないのではとの思いを強く意識するようになった次第です。

神奈川県異業種グループ連絡会議 副議長 雑賀 政徳  
(三浦一族プロジェクト推進委員会 委員長)

**2010年の新年を迎え、心よりお喜び申し上げます。本年もよろしくお願い致します。**

1昨年10月に勃発したリーマンショックの影響にて、自動車業界をトップに、不動産、デパートの景気変動の年でした。IT 業界もご他聞にもれず、メーカーの東芝、日立、富士通、NEC、ソニーと、大幅ダウンを発表しました。NTT ドコモは業績アップながら移動体通信業界もダウンを始めました。(5月～12月) 通信業界は右肩上がりでしたので、IT 業界としては初的大幅変動を経験します。我々の周辺を見渡しますと、スーパーやレストランも、デフレの流れです。

以前より、当社(サイカヤ・システム・テクノロジー(株))はCSRの一環として、異業種交流団体や、商工会議所、自治体の協働のもと、街おこしに長年協力してまいりました。各人が全体の力学に結集して都市間交流を行い、地域を活性化しつつ、商工会議所と横須賀市の合同活動として「**三浦一族プロジェクト推進委員会**」を、設立いたしました。

以下に昨年のシンポジウムの報告をいたします。参考にして頂ければ幸いです。

『横須賀商工会議所(観光サービス部会)と横須賀市文化振興課、観光課は、合同にて、昨年9月、鎌倉幕府を支えた三浦一族(平安末期から鎌倉時代に三浦半島の武士団で有名)に関して、地元の人達にご理解を深めていただき、街おこしにつなげていこうと、「三浦一族プロジェクト」を立ち上げました。三浦氏は、戦国初期に北条早雲に攻められ(三浦市)新井城が落城し、房総半島の勝浦に落ちのび、正木氏を名乗りました。

二代歴史の中で、(勝浦正木氏)正木頼忠の娘で、於万の方は、その後正木氏も落城し、伊豆半島に逃れ、伊豆豪族の紹介で徳川家康に出会いました。将軍家康に認められ、三番目の側室になり、於万の方は、徳川御三家の紀州家の祖となる頼宣、水戸家の祖となる頼房の二人の息子をもうけました。

頼宣の家系は、かの有名な八代将軍の吉宗、頼房の家系は、水戸光圀(水戸黄門)です。紀州家の祖、頼宣の家老に於万の方(養寿院)の兄(正木為春)氏が務める、正木為春氏は、後に、三浦為春と改名しました。

三浦一族プロジェクト推進委員会は、一年間にわたり、三浦一族を調査(専門的に、文学的に、小説的に)し、また、三浦一族とのつながりにて、勝浦市、勝浦商工会、和歌山県庁、和歌山市、和歌山商工会議所、水戸市、水戸商工会議所へと、プロジェクトメンバーにて訪問交流をいたしました。三浦氏、また、於万の方とのつながりを調査する中で、各商工会議所、市役所、県庁との都市間交流ネットワークを構築してまいりました。

10月31日、「**夢を紡ぐものふ～三浦一族とその伝承**」と題して、シンポジウムを開催いたし、記念講演に直木賞作家の永井路子先生をお招きし、ユーモアとパワーあふれる歴史観に驚き、感動しました。その後、郷土史家の方々や、大学教授の方々6名にてパネルディスカッションが行われ、興味深く、また、私達が知らない新発見が多数ありました。

今後横須賀の方々には、三浦一族にご理解と協力を頂き、また、11月29日(日)以降に放映されます「坂の上の雲」(明治時代日露戦争においてバルチック艦隊と戦った戦艦三笠と秋山兄弟)、来年のNHK大河ドラマ、坂本龍馬が放映されますが、龍馬の妻おりょうが有名です。(京都寺田屋事件) おりょうさんの墓が大津信楽寺墓所にあります。多くの観光客や市内の方々が訪問し、循環されると思います。来年は、市内～三浦半島における三浦一族関連団体の方々とのコミュニケーションと調査、又、他都市の方々との相互訪問によるネットワークで、横須賀の街おこしと活性化をはかっていきたいと考えております。』

神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事 芝 忠

**あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。**

さて昨年の米国オバマ大統領の登場や、日本の民主党鳩山政権の出現は、これまでの閉塞感を打ち破る動きとして大歓迎されました。ともに、貧富の格差を解消し、一般庶民の生活向上、核兵器の廃棄と戦争縮小の期待がされました。しかし一朝一夕には実現しないことを改めて痛感します。とりわけ、沖縄の米軍嘉手納基地移転問題は海兵隊の存在が“戦争”そのものを内在するものとして注目を集めています。現在、日本の平和と安全を守るために海兵隊や核兵器が必要なのでしょうか?

以前はソ連の脅威、次には中国、今は北朝鮮からの戦争回避の有力な手段として米軍の役割が評価されていますが、果たして有効な手段でしょうか?北朝鮮の次には“テロ”対策ということになりますが、問題は核兵器を持っている国が戦争を仕掛けてくることを防止する対抗手段として“持つ”ことが有効であるかどうかということです。北朝鮮からのロケット攻撃に対抗する技術は困難なようですし、もし一旦核兵器が発射されると軍事技術的に防止することが不可能なようです。従って発射されないようにすることは、軍事的に核兵器を持っていることではないようです。**様々な外交手段や当該国民の意識など国内外の民衆の動きなど総合的な政治・軍事・経済環境が防止技術になる**と思います。個々の軍事技術や兵器を過少評価するものではないですが、すくなくとも**軍事技術だけでは戦争を防ぎ、最終的に無くすことは不可能**なようです。軍事行動を起ささせな

い、国民意識の醸成、特に貧困を無くすことが不可欠です。虐げられた民衆の声をバックに軍事行動が起こされることがしばしばあります。“正義”の戦争すらも未然に防止するための政治的手段が幼稚です。日本で民主党政権がこうした貧富の格差を是正するための積極的政策を打ってくることを期待します。われわれ神奈川異グ連も地域密着型の産業・文化振興のために頑張っていきたいと思えます。

### 新年挨拶

C&Sグループ会長 魚崎誠也

**異グ連会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。**

厳しい昨今ではありますが、皆様におかれては、グローバル化と国内政局の混乱の中で、新しい気持ちに入替えスタートされたことと存じます。

新規起業が待たれる中で、中小製造業の中には、知恵や工夫を駆使して頑張っておられる企業主様も散見されます。昨年、中小企業主のノウハウを聞いて回る仕事で体験しました。自社製品の部品にイタリアから、安い部品を見つけて、商社を通しての輸入ではなく、ご自身で買入れたり、国内の異業種の製品を1部加工して、自社の製品に部品として組込んだり、個々の事実だけを取上げたのではたいしたことがないようなことが、小さな工夫も数を重ねると相乗効果で大きく業績に寄与しているのです。

以上の事例は、社長ご自身の発想で実行された由で、異業種交流活動には参加されていなかった方です。異業種交流は、このような工夫とヒントを提供する格好の場ではないでしょうか。

本年は、中小企業診断士として、異グ連活動の中で、上記のような知恵と工夫が出来るヒントなりアイデアを少しでも多く提供できるように頑張る所存です。最後になりましたが会員の皆様とご家族のご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

### 産学官交流サロンのコーナー

#### 第24回西湘サロンの開催案内

日 時：2010年01月18日(月) 18:00~20:00  
場 所：あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル) 3F  
話 題：「最高の解決案を短時間で手に入れる方法—  
TRIZ/USIT」  
(株)創造性工学研究所 代表取締役 三原祐治氏  
参加費：1000円(ビール、おつまみ付) 申込：島津、  
吉池、芝 045-633-5142 fax045-633-5194

#### 第36回三浦半島経済人サロンの開催案内

日 時：2010年01月18日(月) 18:00~20:30  
場 所：神奈川新聞社横須賀支社 5F会議室  
話 題：「ボランティアの目から見た観光」  
あしなみ会々長 中林千明氏  
みうら観光ボランティアガイド協会々長 田中健介氏  
参加費：1000円(ビールおつまみ、資料代)  
申 込：八幡 tel 045-633-5142、鶴野 046-836-6785

#### おなじみ尾上町サロン(ぶらり参加大歓迎!!)

日 時：原則第一・三金曜日(01月15日、02月05日、02月19日) 17:15~19:30  
会 場：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所 話 題：自由を持ちより(テーマの事前予約OK)  
会 費：1000円(現物も大歓迎) 問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142 fax045-633-5194

### かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

#### 第103回日韓ビジネス協議会定例会開催案内

高橋導徳BC

昨年は忘年会を行いましたので今年度は下記内容で新年会を開催致します。従って12月度は休会でした。

日 時：2010年01月20日(水) 協議会 16:00~17:00 新年会 17:30~19:30  
場 所：神奈川中小企業センタービル5階会議室 新年会は「だんまや水産」桜木町店 045-231-2239  
内 容：「韓国部品素材専用工団視察ツアー報告」(株)日韓産業技術協力財団・部長 北林 均氏  
関心がある企業の参加者を歓迎致します。申込先：T/F045-311-0094 高橋迄 [mtakahas@tb3.so-net.ne.jp](mailto:mtakahas@tb3.so-net.ne.jp)

#### まんてんプロジェクト

千田泰弘BC

- 12月1日 JASPA. ACPC (Aerospace Components & Parts Consortium) グループがスタートした。まんてんプロジェクトから発足した個別ビジネスグループで、まんてん発足以来 JASPA 株式会社 に次ぐ第二のインキュベーターの事例と言える。JASPA はまんてんグループを代表し 対外企業などと契約を締結する窓口となって、取引支援、受発注などを行ってきたが、JASPA が外部と守秘義務協定などしっかりした協定締結した個別プロジェクトに限り ACPC として個別にスタートさせたものである。まんてんプロジェクトは、これによって第4コーナーを周ったと言える。
- 12月18日 今年度3回目のまんてん全体会合を開催した。(財)日本航空宇宙工業会からの品質保証に対



する解説、全日空からの航空機部品の技術基準に対する解説のほか、まんてん参加企業の湘南デザイン社からの事例報告があった。参加者は懇談会も含めて約60名。

●雑誌「航空情報」2010年2月号(本年12月発行)にJASPAの藤野副社長、千田取締役の共同インタビュー記事が掲載された。わが国の航空機産業振興策の必要性を訴えている内容である。

### シフト21【<http://www.shift21.jp/>】有村知里BC

1月定例会は、新たな年のはじめに、会員の事業プレゼンテーションを行いました。新しいメンバーの方も増えているため、相互の事業への理解を深め、異業種交流会としてのネットワーク強化を図ることが目的でしたが、大いに盛り上がりました。

2月定例会は、風呂敷コンシェルジュのつつみ純子氏に『温故知新の風呂敷講座』というテーマで、風呂敷の歴史などのお話に加えて、ワークショップにおいて基本の箱のお包み・慶弔のお包み・ボトル包みなどを体験します。実際の体験を通じて、新しい考え方が浮かんだり、発想の転換があったりと、ビジネスのヒントにもなるのではないのでしょうか？(2月9日(火)18:30~かながわ県民センター)

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております。(原則第二火曜日開催)

ゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村まで。[arimura-c@nifty.com](mailto:arimura-c@nifty.com)

### 政権交代後の中小企業施策の方向性(シフト21)

日時：3月9日(火)18時30分~20時15分

場所：かながわ県民センター 403号室

テーマ：「中小企業施策の方向性について」

講師：神奈川選出・民主党 水戸まさし参議院議員 <http://kickoff310.weblogs.jp/>

定員：40名(参加無料)

※終了後(20時30分~)懇親会を行います。水戸議員も参加予定です。実費(3,000円程度)

景気の低迷、不透明な将来、環境変化が著しい中で中小企業施策は、どうなっていくのか、どうして欲しいのか、伝える場、話し合う場を企画しました。

一方的に話を聞くだけでなく、ディスカッションもしてみたいと考えています。企業経営に携わる皆様に参加いただき、私たちの声も中央に届けたいと思います。ご参加をお待ちしております。

お問合せ：異業種交流会シフト21事務局 有村まで。[arimura-c@nifty.com](mailto:arimura-c@nifty.com) TEL045-508-6433

#### お知らせ等

#### 「実効型パテントソリューション YOKOHAMA2010」

大手企業、公設試験研究所が保有するライセンス化された技術と、自社商品化を狙う市内中小企業とのマッチングを図るため、技術マッチングセミナーの他、特許・技術相談窓口や新商品開発をバックアップする各種助成金制度等の紹介を行います。お気軽にご参加ください。

講演企業：日産自動車(株)、富士通(株)、(株)東芝、日本放送協会ほか

◆日時：平成22年2月4日(木) 10:30~16:30 ◆会場：パシフィコ横浜 アネックスホール

◆対象：事前予約者 ◆費用：無料 ◆定員：100人/セミナー ◆締切：1月29日

◎詳細はこちら <http://www.city.yokohama.jp/keizai/shien/seizou/psolution/>

◎問合せ：横浜市経済観光局ものづくり支援課 TEL045-671-4144 mail:[ke-kogyogijutsu@city.yokohama.jp](mailto:ke-kogyogijutsu@city.yokohama.jp)

#### 新たな技術で明日を開く「第31回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2010」

日時：2010年02月03日~05日10:00~17:00(3日終了後、異グ連は懇親会を開催、詳細当日)

場所：パシフィコ横浜展示ホール C・D 横浜市みなとみらい1-1-1

第一日目の02月03日(水) 神奈川異グ連と会員グループが次のセミナーを開催します。

●14:00~14:50 A会場 “NPO法人たくみ21” 「より安全に高齢化社会を生き抜こう」

●14:00~14:50 C会場 “C&Sグループ” 「中小企業のためのやさしい会計と緊急資金繰り対策」

●15:00~15:50 C会場 “まんてんプロジェクト” 「最近の取り組みについて」

●16:00~16:50 C会場 “神奈川異グ連” 「県中小企業活性化推進条例の活用方法」

#### 事務局のコーナー

かながわ異グ連理事会 2月4日(木)10:00~ 神奈川中小企業センター6F大研修室

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが話しております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】村上 嘉男 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】(芝 忠) 杉本 明子

【木】松井 利夫 【金】①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL:<http://www.kanagawa-iguren.com> Mail:[iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail [t-onogawa@pro.odn.ne.jp](mailto:t-onogawa@pro.odn.ne.jp) 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!